

不昧書

平 常 心 是 道



1.

大名茶人

だいまようちやじん まつだいらいらふまい

松平不昧の

好み



平成26年

10月25日(土) ~ 12月23日(火・祝)

※作品保護のため、一部展示替えがあります。 前期 10月25日(土)~11月25日(火) 後期 11月27日(木)~12月23日(火・祝)

【開館】午前10時~午後5時(入館午後4時30分まで) 【休館日】11月26日(水)

【観覧料】一般 700 (550) 円、大高生 450 (350) 円、中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金

【主催】公益財団法人 香雪美術館、朝日新聞社

香雪美術館



KOSETSU MUSEUM OF ART

松平不昧の 好み

だいみょうちやじん まつだいらふまい

大名茶人



祥瑞 瑠璃雀香合
中国・明時代

まつだいらふまい
松平不昧(1751-1818)は江戸藩邸で出羽守宗行むねのぶの次男として生まれ、17歳で出雲国松江第7代藩主しゅうほうを襲封し、治郷と名乗ります。破たん寸前であった藩財政の改革をすすめて、財政が好転したのを機に茶道具の蒐集を始め、収集した道具類の目録は「雲州蔵帳」と称されて今日に伝えられています。茶の湯は遠州流と石州流を学び、和歌、俳諧、絵画にも通じます。22歳の時、禅の修行により「不落因果」為甚愴野狐 不昧因果 為甚脱野狐(『無門関』第二則「百丈野狐」ひやくじょうや こ)から不昧の号を得ました。

蔵帳では、茶器を歴史的背景や美的な配慮のもと、宝物、大名物、中興名物、名物並、上、中、下と7段階に格付け分類整理し、天下の名器・名物類の美の基準を示しました。また、不昧独自の美意識によって作られた道具類は「お好みもの」、「不昧好」と呼ばれ、広く知られるところとなります。

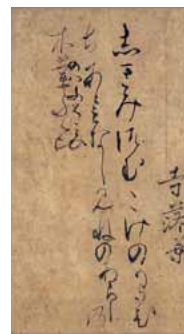
当展では、今なお茶道具の指針とされる松平不昧の審美眼と、その美意識の創造にかかわった作品をご紹介します。



狩野栄信「四季耕作図」江戸時代 白鶴美術館蔵 前期



(伝)徐熙「梅鶯図」中国・明時代 前期



(伝)西行「落葉切」後期
建仁元年(1201)



高取鯰鱈形茶入
銘「腰羹」江戸時代



御本立鶴茶碗 江戸時代



酒井抱一「十二月花鳥図押絵貼屏風」のうち右隻 江戸時代 後期

※前後期表記のないものは通期展示。

関連イベント

梅園会(講演会と茶会)

日時: 12月2日(火) 13:00~ / 茶会: 15:00~

講師: 熊倉功夫氏(静岡文化芸術大学学長、茶道史研究家)

講演: 「松平不昧の茶の湯」

定員: 先着50名(応募多数の場合は抽選)

参加費: 3,000円 ※「大名茶人 松平不昧の好み」展の入場料を含みます。

【申込方法】

往復はがきに住所・氏名(返信用にも)、電話番号を明記のうえ、下記宛先までお送りください。はがき1枚につき2名まで申し込みできます。その場合、必ず2名の住所・氏名、電話番号を明記してください。

※申込を承りましたら、参加費納入のご案内を書面にてご連絡します。参加費をご納入いただきました方には参加証をお送りします。参加費は事前のお振込となり、お振込後のご返金はいたしませんので、ご了承ください。

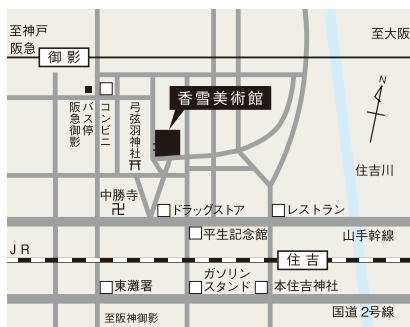
〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1 香雪美術館「梅園会」係

【申込締切】11月4日(火)必着

ギャラリートーク

会期中の毎週土曜日 14:00~ 学芸員によるギャラリートークを行います。

※聴講は無料ですが、別途展覧会の鑑賞券が必要です。



- 表面: 1. 松平不昧「平常心是道」江戸時代
2. 原羊遊齋 不昧公好 高壽絵大菊囊 江戸時代
3. 「染付 雲堂手茶碗」中国・明時代
4. 「高麗 長東割高台茶碗」朝鮮・李朝時代

・阪急「御影」駅より東南徒歩5分
・JR「住吉」駅より北西徒歩15分
・阪神「御影」駅より市バス19系統で「阪急御影」下車、徒歩5分

香雪美術館

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1
Tel. 078-841-0652
<http://www.kosetsu-museum.or.jp>

次回展

企画展「郷倉和子 百寿の梅」2015年3月7日(土)~5月10日(日)